



テュートリアル課題 風邪かしら

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2006
号	B2
発行年	2006-09-29
URL	http://hdl.handle.net/10470/11818

2006年度

Block 2 テュートリアル課題

課題番号1

風邪かしら？



TWMU Block 2 第四内科学 内田 啓子

シート1

医学部2年のK子さんが、高校の同級生のI子さんから電話をもらいました。

I子さん「うちの一番下の9才の弟がね、大変なのよ」

K子さん「どうしたの？」

I子さん「のどが赤くなって、だんだん腫れてきて、痛くて、熱がでて、食事とれなくな
ってね、かかりつけの小児科医院へ行ったの」

K子さん「それは大変！」

I子さん「そうしたら、のどにひどい炎症をおこしているといわれたの」

【抽出を期待する事項】

- ・ 炎症の定義
- ・ 炎症の5徴
- ・ 炎症の原因
- ・ 炎症の経過

シート 2

K子さん「ただの風邪かしら？」

I子さん「私もそう思ったのだけれど、何だか特別な菌がついているそうなのよ」

K子さん「特別な菌？ どうやって調べたの？」

I子さん「採血をしただけなのよ」

K子さん「へーっ、採血で感染した菌の種類がわかるのね」

I子さん「それも、その場でわかるそうよ、母が感心していたもの」

【抽出を期待する事項】

- ・ 特別な菌とは何か、咽頭や扁桃に感染する菌にはどんな種類があるのか
- ・ 菌の種類を同定するにはどんな方法があるのか？
- ・ 感染症の定義は？

シート 3

I 子さん「まだ続きがあるの。2 週間ほどしたらね、今度は急に、赤い尿がでて、
顔がむくんじゃったのよ！」

K 子さん「まあ、それは大変。かかりつけの先生は何ておっしゃっているの？」

I 子さん「それがK 子さんの通っている大学病院の腎臓小児科を紹介されて受診したのよ」

K 子さん「えーっ！うちの大学病院にいらしたの？ そして今度は腎臓なの？

（のどの特別な菌が腎臓にうつったのかしら？）」

I 子さん「のどの溶連菌の感染が原因で腎臓に炎症がおこったそうよ。入院して腎生検
という検査をうけたわ。」

K 子さん「腎生検の結果はどうだったの？」

I 子さん「腎臓の中でも、尿をこしだすところの炎症が強いそうよ」

K 子さん（「尿をこしだすところはどこだったかしら・・・？」）

【抽出を期待する事項】

- ・ 赤い尿とは血尿のことか？
- ・ 顔がむくんだ原因は？
- ・ 腎臓の炎症とはどういう意味か？
- ・ 溶連菌感染後の臓器障害には腎臓以外にどんなものがあるか
- ・ 最初の喉の感染症と腎臓の炎症との違いは何か？
- ・ 腎臓の尿をこしだすところはどこか。その構造と機能は何か。

シート 4

K子さんは翌日、おそるおそるクラブの先輩である腎臓内科U先生に連絡をとっていただきました。U先生はこころよく会ってくださり、I子さんのご家族のご了解も得て、I子さんの弟さんのデータをみせていただき、いろいろ説明をうけました。

K子さん「喉に炎症がおこったことと、次に腎臓に炎症がおこったことは様子が違う
のですね。理解するのはなかなか難しいです」

U先生 「そうね、炎症というのは細菌に感染した時だけをいうのではないの。
お友達の弟さんの場合、腎臓には菌はいないの。一緒に、臨床経過や検査所見、
腎生検の所見をみて勉強しましょう。」

K子さん「よろしくお願いします」

資料：病歴シート

検査所見シート

腎生検所見（組織写真2枚）

【抽出を期待する事項】

- ・ 溶連菌感染後の急性糸球体腎炎の病因
- ・ 急性糸球体腎炎の経過と病態
- ・ 急性糸球体腎炎の組織所見
- ・ 急性糸球体腎炎の治療と予後